

あいち・とこなめスーパーシティ構想の実現に向けた提案書 【要約版】

【アピールポイント】

- ☆2050年カーボンニュートラル、アジア諸国とのスマートシティに関するパートナーシップなどの国の政策と方向性を同じくし、さらに**世界のスマートシティ・関連企業との連携**によって、世界標準を狙える水素エネルギーの活用を始めとしたプロジェクトを構想
- ☆全国でいち早く**自動運転の実証実験**に着手した愛知県の中でも、最も実験を積み重ねた構想対象地域の**最先端技術・サービスの社会実装フィールド**としての高いポテンシャル
- ☆モノづくりを中心とした我が国随一の産業集積を背景に、世界最高レベルのスタートアップ支援拠点「**ステーションAi**」との**連携**によって、**開発・実証から実用化につながるサイクルを形成**
- ☆ビジネスを中心に年間1,300万人の旅客が利用する**中部国際空港**と、**ジブリパーク**、**アジア競技大会**、**リニア中央新幹線**などの、世界の注目を集めるプロジェクトによる「**先端技術のショーケース**」としての発信力
- ☆**公立学校の公設民営**や**有料道路コンセッション**などの全国初の規制緩和や、全国から注目される**BTコンセッション**による愛知県新体育館の整備などの大型プロジェクトを実現に導く、**愛知県のノウハウと実行力**

1 対象区域

中部国際空港島・周辺地域

<概要>

- ・国際拠点空港である中部国際空港が開港し(2005年)、近年は、**ホテル**、複合商業施設「**FLIGHT OF DREAMS**」(2018年)、**第2ターミナル**(2019年)、愛知県国際展示場「**Aichi Sky Expo**」(2019年)がオープン。また、**二本目滑走路の整備**を始めとする機能強化に向けて取り組んでいる。
- ・対象区域では、**自動運転サービス**の実現に向けて、2017年度から**実証実験**を行うとともに、空港での**サービスロボットの実証実験**を積極的に行い、最先端技術・サービスの社会実装フィールドとしてのポテンシャルが高まっている。

<位置図>

フェーズ I (~2025年)

中部国際空港島と対岸部のりんくう町に最先端技術・サービスの導入を図り、ビジネスモデルを構築する(早期実装拠点)。

※県内他地域の構想との連携により相乗効果を発揮

フェーズ II (2026年以降)

フェーズ I で実現したサービスについて、常滑駅周辺等市街地への展開を図る。



フェーズⅢ（2030年頃）

市内、県内の課題解決のための展開を図る。

<サブフィールドへの展開>

- ・フェーズⅠの早期実装拠点で導入する技術やサービスについて、ジブリパークやステーションAiなど県内で予定しているプロジェクト事業と連携し、スーパーシティのサブフィールドとして、**最先端技術を活用したサービスの横展開**を図る。

2 構想の概要

- ・中部国際空港島・周辺地域を中心に、愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」へ国際会議や見本市などMICEを誘致し、我が国を代表する国際観光都市を実現するとともに、最先端技術・サービスの社会実装フィールドとすることでイノベーション創出の拠点化を進める。

⇒中部国際空港島・周辺地域を、最先端技術・サービスの社会実装フィールドの中心に位置づけ、早期のサービス展開を目指す。

⇒スタートアップ支援拠点「ステーションAi」の機能を活用し、国内外の有力なスタートアップと大学、企業を巻き込んだサービス開発・実証が、実用化していくサイクルを形成する。

⇒実装フィールドで得たノウハウを元に、市内・県内へ最先端技術・サービスの普及を促進し、地域の課題解決を図る。

- ・こうした取組を通してSDGsの達成に貢献していく。

<あいち・とこなめスーパーシティ構想が目指す未来都市像>

「グリーン&イノベーション アイランド」

※国内最大のモノづくり集積地の強みを生かし、**グリーン&デジタル時代**の新しいビジネスを創出し続ける、**世界をリードする国際観光都市**へ

コンセプト

- ・実装できる先端技術をまるごと取り込み、世界 No. 1 の国際観光都市を実現
- ・テクノロジーで、空間・時間マネジメントの新たな形を提案
- ・世界中からイノベーターを集め、最先端を創り続けるショーケース

3 先端的サービスの概要

(1) 未来を先取りする移動・物流システム

[先端的サービス]

- ①空港島内の回遊ならびに空港島外からの移動と輸送を完全サポートする

『自動運転・自動搬送サービス』

- ②空域管理で安全な空の移動・物流を実現する『空飛ぶクルマやドローンによる空の移動・物流サービス』

- ③すべての移動情報や空間情報、イベント等の開催情報などを連携して、初めての人にも優しい移動を実現する『スマートモビリティサービス』
- ④移動時間の中で会議ができる空間の創出など『新しいモビリティの価値創出』

[規制・制度改革の提案]

道路運送法、道路交通法、航空法などに関して 25 項目

(2) すべての人々に満足を届ける最先端おもてなしサービス

[先端的サービス]

- ⑤パスポートレスや手ぶら観光を実現する『OneID・キャッシュレスサービス』
- ⑥利用者の属性に対応したサービスを提供する『パーソナルコンシェルジュ』
- ⑦愛知県の主要な観光地を体験できる『バーチャルあいち』

(3) ゼロ・カーボンで世界最高水準のレジリエンス機能の実現

[先端的サービス]

- ⑧水素エネルギーを利活用した『クリーンエネルギー』モデルの構築
- ⑨都市空間のエネルギー構成の全体最適化を図る『次世代エネルギーマネジメントシステム』
- ⑩都市インフラ管理等の効率化・自動化を実現する『次世代アセットマネジメント』

[規制・制度改革の提案]

ガス事業法、高圧ガス保安法、工場立地法などに関して 8 項目

(4) 人口減少社会にふさわしい人に優しい社会の実現

[先端的サービス]

- ⑪病歴、医療データ等を解析する『健康情報管理システムによるヘルスケア』
- ⑫ライフライン情報や行政情報をデジタル化して様々な人の暮らしをサポートする『ライフサポートプラットフォーム』

[規制・制度改革の提案]

医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律に関して 1 項目

(5) 世界最先端を創り続けるイノベーションエコシステムの構築

[先端的サービス]

- ⑬開発から実装まで連続して行える『オープンイノベーションエリアの創出』
- ⑭『スーパースィティの深化と市内展開』により空港と地域の一体的な発展を実現

4 データ連携基盤

- ・データ連携基盤の整備にあたっては、システム間の相互の連携および互換性が確

保されるとともに、**データの安全管理に係る基準**への適合に関する事項を満たすデータ連携基盤整備運営事業者を選定する。また、**外部監視委員会**を設置し、セキュリティの監視やチェックを行う。

- データ連携基盤整備運営事業者及びデータ連携基盤を活用した先端的サービスを実施する者に対して、**個人情報の適切な取扱い**の確保のための取組を求める。

※「主要な事業者の候補」は延べ 187 事業者（先端的サービス間の重複を含む）

5 推進体制

- 県・市・サービスを展開する民間企業等による**官民連携の協議会**を設置し、都市計画の全体マネジメント、データ連携基盤の運営管理などを行う。
- 構想の全体をリードし、未来社会における都市機能の実現に向けて、専門的な立場から助言・提言を行う**アーキテクト**には、環境と調和した新しい都市空間のあり方について深い見識がある**隈研吾氏**を選定。

6 全体スケジュール（フェーズ I）

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
プロジェクト	○ SDGs 関連国際会議	○ ジブリパーク		○ スタートアップ支援拠点「ステーションAi」	○ 愛知県新体育館
① 未来を先取りする移動・物流システム（自動運転） （ドローン・空飛ぶクルマ） （スマートモビリティ） （新しいモビリティの価値創出）	ビジネスモデルの調査・検討 自動運転サービス実証		ビジネスモデル検証 自動運転サービス実証 自動運転サービス順次実装開始	ビジネスモデル修正 自動運転サービス実証	
	基礎調査	有人機・無人機が共有する運航管理システムの開発			実証
	ビジネスモデル検討 モビリティデータの可視化	アプリ構築	プライシング・決済等のサービス付加	実装	
	コンセプトカーの導入実証		実装		
② すべての人々に満足 を届ける最先端おもて なしサービス	基礎調査 ビジネスモデル検討	アプリ構築 ビジネスモデル検証 実証実験	ビジネスモデル修正	順次実装	
③ ゼロ・カーボンで 世界最高水準の レジリエンス機能の実現	基礎調査 ビジネスモデル検討	ビジネスモデル検証 BMS導入シミュレーション 実証実験	ビジネスモデル修正 システム設計・開発	実装	
④ 人口減少社会に ふさわしい 人に優しい社会の実現	基礎調査	実証実験 ビジネスモデル検討	ビジネスモデル検証	空港島従業員サービス開始 ビジネスモデル修正	
⑤ 世界最先端を創り続 けるイノベーションエコ システムの構築	空港などで先端技術やビジネスモデルを社会実装するための、オープンイノベーションを促進するアクセラレータープログラムを実施				
		イノベーション拠点化の検討		ステーションAiと連携したイノベーション拠点化	
データ連携基盤	○ 住民説明会実施	システム開発	順次運用開始		